

## 祝辞

この良き日に、岐阜保健大学・大学院及び医療専門学校にご入学された皆様、ご入学おめでとうございます。この大学、医療専門学校の創立者として一言御祝いの言葉をお送りいたします。

春の光がうらかな今日の佳き日に入学式が厳粛のうち盛大に挙行できましたことを心よりお祝い申し上げます。新入生の皆様、ご入学おめでとうございます。これまでの皆様の努力とともに、今まで深い愛情をもって支えてこられましたご父兄の皆様にも心よりお喜び申し上げます。

さて皆様の勉学の場となる岐阜保健大学は1971年に創立しました。1984年には学校法人となり、調理科、岐阜県医師会より要請があり医療秘書課を開設しました。その後、看護学科、介護福祉学科、リハビリテーション学科、そして東洋医療学科を基盤として、2006年に岐阜保健短期大学看護学科が開設され、2009年に理学療法学科、2010年に作業療法学科が開設されました。この間43年の歴史がございます。大勢の卒業生が医療の現場で活躍しています。

さて皆様は今日から3年もしくは4年間それぞれの「学問」を学びます。私は皆様になぜ「学問」を学ぶのか、その目的を問いたいのです。「学問のすすめ」にはこのように書かれています。「学問という語は意味が広く、抽象的、具体的両方の意味があります。しかしどちらにしろ、その目的はみな、知識、見聞をひろめ、ものの道理を理解し、人間としての責任を自覚することにある」とされています。私は学園長としての責任を自覚するために、いろいろな可能性を固定せず、これをどのように「つくり、作り変え、つくる」を続けていくという訓練をするようにしています。

新入生の皆様、今日からこのキャンパスで学生としての責任を自覚し、卒業後、医療人としての責任をどのように自覚するかを訓練してください。その訓練とは「助け合う」ことから始まります。人間は決して孤立して生きられるようにはつくられていません。「助け合う」ことが、人間にとって大きな道徳になっています。「助け合う」という気持ちや、その行動の基本は、思いやり、優しさ、いたわり、という感情です。でもこれらは、どれも人間の本能ではありません。だから私たちは訓練して、それらを身につけることが必要なのです。

皆様は、看護師、保健師、助産師、リハビリテーション、はり・きゅう、柔道整復といずれかに進む目標をもって本学に入学してきました。いずれの分野において、それぞれの専門知識は思いやり、優しさ、いたわりが基本です。私たちが生きていくうえで欠かすことができないもの、「心構え」があります。今日の皆様の式辞を「心構え」として、これからのキャンパスライフを大いに楽しむことを期待して祝辞とします。

ご入学おめでとうございます。

令和5年4月1日 学校法人豊田学園 学園長 豊田育子